

2025年度

履修証明プログラム

ヘルスケア×マネジメントコース

病院経営アドミニストレーター育成プログラム

シラバス（授業計画）

小樽商科大学大学院商学研究科

アントレプレナーシップ専攻

－ 目 次 －

1. 趣旨	1
2. 開講科目	1
3. 修了要件	1
4. 授業計画	1
経営学入門	3
マネジメントの知識と思考法	4
地域医療マネジメント	5
病院経営特論.....	7
地域ヘルスケアシステムプランニング	8

1. 趣旨

少子高齢化、人口減少を背景に社会保障制度の持続可能性が危ぶまれている中、医療機関経営はさらに厳しさが増すと予想されます。また、予測困難と言われる時代において、組織として事業環境の変化への対応など、判断や行動のスピードに対する要求が高まっており、今後もこうした状況は続いていくと予想されます。本プログラムでは、医療機関経営においても、過去から未来を推測する力、新しい事業を創造する力といった「起業家的行動能力（≡アントレプレナーシップ）」が重要であると考え、その能力を醸成すべく本学ビジネススクールの教育経験を活かしたカリキュラムを構築し、履修証明プログラムとして開講します。

2. 開講科目

総授業時数：87 時間

- ・経営学入門（6 時間）
- ・マネジメントの知識と思考法（15 時間）
- ・地域ヘルスケアマネジメント（24 時間）
- ・病院経営特論（24 時間）
- ・地域ヘルスケアシステムプランニング（18 時間）

※「経営学入門」のみを受講することはできません。

※「地域ヘルスケアシステムプランニング」を受講するためには、「地域ヘルスケアマネジメント」を受講している必要があります。

3. 修了要件

全科目の履修および科目の合格により修了を認定します。受講科目の合否は、出席状況、事前・事後課題の提出状況、講義中の発言など授業への参画度合い、および最終課題としてのプランニングの内容とプレゼンテーションの評価を総合的に判断します。

4. 授業計画

本プログラムに関する情報は、受講管理システム manaba を通じて受講者へお伝えします。

○授業時間（モジュール型授業）

モジュール型（集中連続）授業では、1 回の授業を 2 時限連続（90 分×2 コマ=180 分）、平日夜間（6,7 講目）に行い、集中的に学習します。また、土曜日開講の科目は、3～4 時限連続（2～5 講目）で授業を実施します。

○開講時間帯

1 講目 8 : 50 - 10 : 20

—平日夜間—

2 講目 10 : 30 - 12 : 00

6 講目 18 : 30 - 20 : 00

3 講目 12 : 50 - 14 : 20

7 講目 20 : 10 - 21 : 40

4 講目 14 : 30 - 16 : 00

5 講目 16 : 10 - 17 : 40

○講義会場

小樽商科大学札幌サテライト

札幌市中央区北 5 条西 5 丁目 7 番地 sapporo55 ビル 3 階

※対面授業およびリアルタイム型オンライン授業を併用したハイフレックス型授業で行うことを基本とします。

○授業日程

2025 年 7 月 2 日から 2026 年 2 月 21 日まで (予定)

※詳細な日程は現在担当講師と調整中です。

科目名	経営学入門
------------	--------------

担当教員	藤原 健祐 ※オンデマンド授業	
時間数	6 時間	
授業の概要	経営学は、各企業の実践的課題に対する解決策を理論的に明らかにすることが中心となる。しかし、その課題や解決策は、企業外部の経済環境の変化によって比較的短いスパンで様変わりしやすく、また、多様に存在する。本科目では、経営学を学ぶ上で必要となる企業と経営に関する基礎的な知識を修得する。	
到達目標	企業が実際にどのような方針（戦略）を立て、その方針に基づいてどのような仕組み（組織）を作り、その仕組みの中でどのように運営（管理）しているのか、という一連の経営活動を理解することができる。	
授業計画	M1	※映像出演 近藤 公彦（撮影当時 小樽商科大学ビジネススクール 教授）
	テーマ	企業と経営 経営学とは何か、企業とは何か、環境と組織のマネジメント
	M2	※映像出演 近藤 公彦（撮影当時 小樽商科大学ビジネススクール 教授）
	テーマ	経営戦略（1） 経営戦略とは何か、ドメインの設定、ポートフォリオ・マネジメント、多角化戦略
	M3	※映像出演 近藤 公彦（撮影当時 小樽商科大学ビジネススクール 教授）
	テーマ	経営戦略（2） 3つの基本戦略、5フォース分析、競争地位別戦略、バリューチェーン分析
	M4	※映像出演 近藤 公彦（撮影当時 小樽商科大学ビジネススクール 教授）
	テーマ	経営管理 人と組織のマネジメント、モチベーションとインセンティブ、集団とリーダーシップ、組織構造の次元、組織構造の設計

科目名	マネジメントの知識と思考法
------------	----------------------

担当教員	李 濟民、籙本 智之、玉井 健一、猪口 純路、西村 友幸	
時間数	15 時間	
授業の概要	<p>本科目では、ビジネスパーソンが共通して身につけておくべき戦略、マーケティング、組織行動と人的資源管理、会計・財務といった経営管理に関する基礎的な知識を習得することを目的とする。事業のプランニングに必要な経営戦略・マーケティングの分析フレームワーク、チームマネジメント、企業会計の基礎について、本学ビジネススクールの講師陣による講義を行う。</p>	
到達目標	<p>経営管理に関する基礎的な知識を習得し、課題発見から課題解決に至る過程において必要なマネジメント思考を身につける。</p>	
授業計画	M1	小樽商科大学 名誉教授 李 濟民
	テーマ	経営戦略（SWOT 分析、5Force 分析、バリューチェーン等）
	M2	小樽商科大学ビジネススクール 教授 籙本 智之
	テーマ	企業会計の基礎（財務諸表の仕組みと役割、財務分析の基礎等）
	M3	小樽商科大学ビジネススクール 教授 玉井 健一
	テーマ	イノベーション概論（戦略志向のイノベーションプロセス等）
	M4	小樽商科大学ビジネススクール 教授 猪口 純路
	テーマ	マーケティング（市場細分化、ターゲティング、ポジショニング等）
	M5	小樽商科大学ビジネススクール 教授 西村 友幸
	テーマ	チームマネジメント（リーダーシップ論、モチベーション等）

科目名	地域ヘルスケアマネジメント
------------	----------------------

担当教員	猪口 純路、北川 泰治郎、藤原 健祐、齋藤 直路 他	
時間数	24 時間	
授業の概要	<p>少子高齢化と人口減少の進行に伴う一連の社会的・経済的問題が懸念されており、地域の包括的な支援・サービス提供体制の構築、さらには人口減少社会における新しいまちづくりを進めていくことが求められています。こうした地域課題へのアプローチにおいては、広く地域住民に対する新たな価値提案の視点が不可欠であり、医療における患者や、介護における利用者に対するサービス提供の枠を超え、様々な地域資源を相互に連携させた新しいサービスのデザインが必要となります。</p> <p>本科目では、医療・介護・健康等を包含する広義の意味でヘルスケアを定義し、ヘルスケアサービスを楽しむ側／提供する側の双方の「ウェルビーイング」を議論の主題とします。本授業の目的は、ヘルスケアに係る地域課題の多様性を理解し、その課題解決へアプローチするための視座を高めることであり、各分野の専門家を招いたレクチャー及びグループ討議を実施します。</p>	
到達目標	ヘルスケアないしウェルビーイングに係る地域課題を洗い出し、分野横断的発想から課題解決へと導く新たなサービスを発想できる。	
授業計画	M1	小樽商科大学ビジネススクール 准教授 藤原 健祐 株式会社スターパートナーズ 代表取締役 齋藤 直路
	テーマ	地域ヘルスケアマネジメントの考え方と共通価値の創造
	M2	医療経済研究機構 主席研究員 石川 智基
	テーマ	事業の社会的インパクトを捉えるデータ分析
	M3	みずほリサーチ&テクノロジーズ 社会政策コンサルティング部門 プリンシパル 田中 文隆
	テーマ	企業と人の幸福な関係を築く～人的資本経営の取り組み～
	M4	溪仁会グループ最高責任者 成田 吉明
	テーマ	地域医療の目指すべき方向と地域との共生

	M5	株式会社さくらコミュニティサービス 代表取締役 中元 秀昭 小樽商科大学ビジネススクール 教授 猪口 純路
	テーマ	介護サービスの重要性と介護を軸とした新たなビジネスモデル
	M6	生活協同組合コープさっぽろ 中島 則裕
	テーマ	地域連携によるソーシャルビジネスの展開
	M7	株式会社日本総合研究所 創発戦略センター インキュベーションプロデューサー 水嶋 輝元
	テーマ	web3×地域課題解決
	M8	小樽商科大学ビジネススクール 准教授 藤原 健祐 株式会社スターパートナーズ 代表取締役 齋藤 直路 小樽商科大学 CGS 産学官連携推進部門 教授 北川 泰治郎
	テーマ	プレゼンテーションとクラス討議

科目名	病院経営特論
------------	---------------

担当教員	小笠原 克彦、上村 修二 他	
時間数	24 時間	
授業の概要	日本の医療制度、保健医療政策について理解するとともに、マーケティングや財務会計等に存在する病院経営の特性を理解し、経営環境に応じた戦略立案に資する知識の獲得を目指す。	
到達目標	病院経営の基本的姿勢や考え方について理解を得るとともに、経営学において発達してきた理論・手法を、医療機関経営に適用・応用できることを到達目標とする。	
授業計画	M1	北海道大学大学院保健科学研究院 教授 小笠原 克彦
	テーマ	北海道の医療政策的視点と医療データ分析
	M2	東北大学大学院医学研究科 医療管理学分野 教授 藤森 研司
	テーマ	国の医療政策的視点、DPC 等
	M3	慶應義塾大学大学院経営管理研究科 教授 中村 洋
	テーマ	外部環境変化と今後の先取り
	M4	旭川医科大学 経営企画部 医療情報部門 准教授・副部長 谷 祐児
	テーマ	医療情報、個人情報保護、医療 DX
	M5	一般社団法人エアクラフト北海道 代表理事 田瀬 祥夫
	テーマ	一般の会計と医療機関の会計の違い
	M6	日本医療大学 総合福祉学部 准教授 小野寺 美希子
	テーマ	プロフェッショナルの組織学習
	M7	札幌医科大学医学部病院管理学 准教授 上村 修二
	テーマ	(仮) ケーススタディ 病院経営改善
	M8	医療法人仁友会 仁友会本部本部長 平間 康宣
	テーマ	北彩都病院のケース

科目名	地域ヘルスケアシステムプランニング
------------	--------------------------

担当教員	安田 宏、今村 恵、石川 康暢、清水 隆文、藤原 健祐	
時間数	18 時間	
授業の概要	<p>少子高齢化、人口減少、地域格差といった北海道が抱える課題を、単一の医療機関が解決することは難しく、この課題解決には他機関とのアライアンスによる「共創」が必要であり、持続可能な病院経営には欠かせない視点といえる。本科目では、ゼロサムからプラスサムへ思考を転換し、北海道が抱える課題の解決をテーマとした新たな地域ヘルスケアシステムのアイデアを構想する。</p>	
到達目標	<p>事業プランを練り上げていく過程を通じて、事業プランニング（新規事業計画の立案・作成作業）に関する理解と技能を高める。各種分析ツールの適切な活用等、プランニングの標準的な検討作業の手順を理解する。</p>	
授業計画	M1	小樽商科大学ビジネススクール 准教授 藤原 健祐
	テーマ	プランニングの概要
	M2	社会医療法人柏葉会 法人本部経営企画部長 安田 宏
	テーマ	病院経営アドミニストレーターとして必要な能力とは？
	M3	医療法人徳洲会南部徳洲会病院 総合診療科医長 今村 恵
	テーマ	プランのベースとなるアイデアの着想・想定
	M4	小樽商科大学ビジネススクール 准教授 藤原 健祐 社会医療法人社団愛心館愛心メモリアル病院腎臓内科 医師 石川 康暢 手稲溪仁会病院 救命救急センター 医師 清水 隆文
	テーマ	実行プランの練り上げ・練り込み
	M5	小樽商科大学ビジネススクール 准教授 藤原 健祐 社会医療法人社団愛心館愛心メモリアル病院腎臓内科 医師 石川 康暢 手稲溪仁会病院 救命救急センター 医師 清水 隆文
	テーマ	最終報告会